

お知らせ

今年 は 国勢調査の年

10月1日現在で全国いっせいに「平成17年国勢調査」が実施されます。日本に住んでいるすべての人を対象に5年ごとに行われる大規模な統計調査です。

今回の調査は、人口の転換期にあるわが国の最新の事態を明らかにするたいへん重要な調査で、その調査結果は少子高齢社会への取り組みやみなさんのまちづくりに活かされます。

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

● 問い合わせ先

企画広報課
(☎82・1130)

指定給水装置工事 事業者の指定のお知らせ

平成17年4月18日付で左記の業者を市水道局指定給水装置工事事業者に指定しました。

長尾熔接所

宇部市大字船木1395の1
(☎67・0268)

大日グループ株式会社

山陽小野田市赤崎一丁目5の10
(☎88・2450)

5月16日(月)～22日(日)は 行政相談週間です

国、県、市の業務について、「気になることや困っていることがある」「制度や手続きがわからない」などの相談事をお持ちの人は、お気軽にご相談ください。

● 行政相談委員

藤本英子(郷) ☎83・6945
衛藤弘光(稻荷町) ☎83・6969
吉中盛雄(鳥越一) ☎75・0008

やまぐち森林づくり県民税 4月1日からスタート

県では、荒廃が深刻化する森林を適正に整備し、その森林を県民共有の財産として引き継いでいくために、4月から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。

● 年税額・対象

○個人 500円

県内に住所がある人、または県内に事務所、事業所または家屋敷をもっている人

○法人 千円～4万円(県民税均等割額の5%相当額)

県内に事務所、事業所のある法人等

● 納付方法 県民税「均等割」に加算

● 問い合わせ先

県税務課
(☎0833・9333・2275)

http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/
gyosei/zeimu/index.htm

紙おむつ等給付事業

● 対象

紙おむつ等を常時必要とする在宅の寝たきり老人や重度心身障害者で、市民税非課税世帯に属する人を介護している家族

● 申請方法

給付を希望する人は、高齢障害課に備え付けの認定申請書を提出

● 問い合わせ・申請先

高齢障害課高齢福祉係
(☎82・1171)

特別給付金の支給

● 対象者

○ 大正15年4月1日以前に出生している在日外国人で制度上の関係で年金に加入できなかった人

○ 所得額が国民年金法施行令等の一部を改正する政令に定める額(制限額)以内であること

○ 公的年金や他の自治体の特別給付金等の公的支援を受けていないこと。

● 申請書類等

申請書、登録原票記載事項証明書、本人および扶養義務者の市県民税所得証明書等

● 支給額 月額1万円(年4回支給)

● 問い合わせ・申請先

高齢障害課高齢福祉係
(☎82・1171)

理大 つうしん 2

http://www.yama.tus.ac.jp/

目で見る英語・発音のしくみ

「正しい英語音の習得に新教材開発」この度、当大学の研究グループ「目で見る英語研究会」が、画期的な英語教材CD・目で見る英語発音のしくみ(子音編)を開発しました。これは、国際的に評価の低い日本人の英語の発音をなんとか改善しようと、液晶研究所所長・小林駿介教授の指導のもと、コンピュータ・エンジニアリング(見山友裕・電子・情報工学科助教が担当)と英語(島幸子・一般基礎教授が担当)とを結合させて開発したものです。

このCDをパソコンで開くと、日本人が苦手な英語音の発音を耳で確認すると同時に、画面上で、発音した時の口腔内の断面図・正面図を見ることができると、口腔内で舌や唇、歯、息がどのように動いているかを画像で確認できます。音声のみや動きのない紙の上の絵表示だけというこれまでの発音教材とは違い、外から見えない口腔内での音づくりが分かるので、正しい発音が学びやすくなっています。

日本語にない音の聞き分けができるようになるには、正確な英語音が言語脳にインプット(入力)されることが大切で、発音の訓練をすることは、すなわちリスニング上達への最短距離となります。学校での英語教育に欠かせない基礎訓練、06年度から始まるセンター入試のリスニング導入対策、英語能力テストであるTOEIC・TOEFLの得点取得にと、このCDはさまざまな場面で活用できます。詳しくは、見山助教の研究室(☎88・4550)までお問い合わせください。